

七高SSH通信

R4/9/6
令和4年度
第7号

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

マリンサイエンスオンライン発表会

7月15日（金）に、本校と能都中学校、松波中学校、能登香島中学校、金沢医王山中学校をオンラインで結び「マリンサイエンスオンライン発表会」を実施しました。活発に質疑応答がなされました。七尾高校の生徒は中学生の素朴な質問に対して、一生懸命答え、海の生き物の不思議さや研究の面白さをつたえてくれました。



感想（中学生）

- 同じ生物でも班によっていろいろな疑問が浮かんでいたのもおもしろかった。
- どの班も面白く説明してくれて、分かりやすかったです。
- 同じ海の生き物を調べていても、目的や実験方法が違って面白かった。
- 様々な生物に目を向けて新たな発見をすることがとても大切だと感じた。

Research Communication I

7月7日（木）に、本校視聴覚教室で Scientists（偉大な科学者たち）というテーマで10人の科学者を選び、各班がポスターを作って英語で発表をしました。入学して初めての英語プレゼンテーションとあって、原稿の暗記、ポスターの見せ方、質疑応答などに少し苦戦している様子も見られましたが、どの班も練習の跡が伺え、落ち着いて発表ができました。また聴衆も、発表をふまえた質問をすることができました。



発表テーマ一覧

- 「アイザック・ニュートン」
- 「アルベルト・アインシュタイン」
- 「北里柴三郎」
- 「高峰譲吉」
- 「チャールズ・ロバート・ダーウィン」
- 「中谷宇吉郎」
- 「牧野富太郎」
- 「ヨハネス・ケプラー」
- 「ルイ・パスツール」

課題研究 I（第1学年普通科）

自然科学研究 I（第1学年理数科）

「ポスター発表会」（7月8日）

探究活動で作成したポスターについて、その発表会を行いました。初めてとあって、原稿の暗記、ポスターの見せ方、質疑応答などに苦戦する様子も見られましたが、どの班も練習の跡が伺え、今後の伸びが大いに期待できる発表でした。

～生徒の感想～

- 質問を考えながら聞くと、より深く理解できた。
- 豆知識が多くて、頭に残りやすくて楽しかった。
- ポスターの内容を要約して、大事なところだけ伝えられたので良かった。
- 聞き手を引きつける工夫があってよかったと思う。
- 聴衆に対して「話す」のではなく、「伝える」ということを意識して発表することができた。



融合プロジェクト

7月19日（火）に、本校第1体育館で、3年生が「探究」において、2年次の3学期より取り組んできた「融合プロジェクト」の発表会が行われました。

融合プロジェクトとは、文系フロンティアコース、普通コース文系、普通コース理系、理数科の生徒がクラス横断で一つのグループを組み、能登の課題についての解決策の提案を行うものです。生徒たちは、テーマについて、協働して取り組み、その成果を発表しました。

発表は、それぞれのグループが、1年生から行ってきた探究活動の集大成という感じで、しっかりと発表を行いました。

～生徒の感想～

- 各班が探究したことがそれぞれ異なるため、いろいろな観点から能登を見る機会になってよかった。
- 具体的内容など自分のテーマに対する具体策やプランをしっかり考えていたら質問されたときにもっと深い内容で相手に伝えられると思った。
- 同じような課題であっても、それぞれ違った視点から考えていたので参考になった。
- 一つの情報に対して多くの考えを伝えたり、根拠をもっと明らかにして伝えたいと思いました。
- 能登には様々な課題があると思いました。いろいろな解決策があり、自分では思いつかないようなものを聞いた。
- どの発表も対策の根拠となる情報をたくさん集めていて納得できるものが多かった。

